

経営者JP総研 エグゼクティブ・ウォッチ vol.14

消費税増税後の影響とキャッシュレス化に関する意識調査

消費税増税のメリットを感じない人が半数以上

エグゼクティブの72%がキャッシュレス決済派
現金派の経営者はわずか26.5%に対して課長クラスは38.9%

エグゼクティブ向けの転職・キャリア支援サービスを展開する株式会社 経営者JP(本社:東京都渋谷区 代表取締役社長・CEO 井上和幸)は、管理職以上のエグゼクティブに対して消費税増税後の影響とキャッシュレス化に関する調査をいたしました。当社とお付き合いのあるエグゼクティブの男女約 7,000 名(有効回答数 100名)を対象に、普段使っている決済方法やキャッシュレス化に関する考えなど、リアルな声を伺いました。

【主な調査結果】

■ 消費税増税のメリットを感じない人が半数以上

全体のうち56.0%が消費税増税に「メリットを感じない」と回答。その理由には「支払いが増えるから」や「軽減税率の対応で現場の工数がかかったから」などがあげられました。

■ エグゼクティブが使うQRコード決済“利用率”ランキング1位「PayPay」、2位「LINE Pay」、3位「d払い」

QRコード決済を使い始めたきっかけは「ポイント還元、割引などの特典」や「スマートフォンだけで支払ができる便利さや簡単さ」などの声が多くあがりました。

■ エグゼクティブの72%がキャッシュレス決済派、現金派の経営者はわずか26.5%に対して課長クラスは38.9%

キャッシュレス決済の利用頻度を伺うと、72.0%が「いつも利用する」と回答し、大多数を占めました。また、普段現金決済をする方の内訳を役職別に見てみると経営者が全体平均の33.0%よりも低い26.5%に対して課長クラスは38.9%という結果になりました。その理由には、「まだ現金のみしか対応していない店舗があること」や「キャッシュレスは見えにくいところで使い過ぎに陥りやすいため基本的に現金派」などがあげられました。

今回はエグゼクティブの皆様にも10月から施行された消費税増税後の影響とキャッシュレス化に関する意識調査をしました。まず、消費税増税について。全体のうち56.0%が「メリットを感じない」と回答。その理由には「支払いが増えるから」や「軽減税率の対応で現場の工数がかかったから」などがあげられました。一方で12.0%が「メリットを感じる」、32.0%が「どちらとも言えない」との回答になりました。消費税は何%が妥当かを伺うと、最も多かったのが「10%」、続いて「5%」、「0%」という回答も目立ちました。次に政府が後押しをするキャッシュレス決済について。10月から各所でポイント還元がスタートしましたが実際にどの程度利用されているのか、実態に迫りました。キャッシュレス化の促進についての賛否を伺うと、78.0%が「賛成」、7.0%が「反対」と回答しました。今後、キャッシュレス決済が定着するかについても伺うと73.0%が「定着すると思う」と回答し、キャッシュレス決済肯定派が過半数を占めています。実際にキャッシュレス決済の利用頻度を伺うと72.0%が「いつも利用する」、24.0%が「たまに利用する」と回答。よく利用する決済方法についても伺うと、「クレジットカード決済」が最も多く85.0%、続いて「電子マネー決済」が66.0%、「QRコード決済」が35.0%と上位3つをキャッシュレス決済が占め、わずか33.0%が「現金決済」という結果になりました。スマートフォンのアプリで手軽に利用できるQRコード決済も注目されていますが、その中で最も使われているのが「PayPay」、続いて「LINE Pay」、「d払い」という結果になりました。QRコード決済を使い始めたきっかけは「ポイント還元、割引などの特典」や「スマートフォンだけで支払ができる便利さや簡単さ」などの声が多くあがりました。逆に使っていない理由は「利便性、必要性を感じない」や、「不正使用や個人情報流出などの不安」といったセキュリティに関する懸念の声が目立ちました。

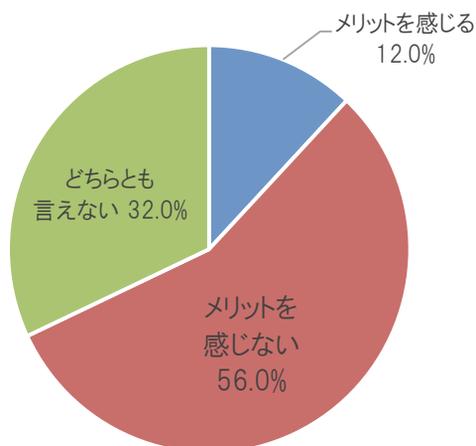
■ 経営者JP総研所長(経営者JP 代表取締役)井上和幸のコメント

キャッシュレスは概ね定着している実感がありますが、それを裏付けるデータとなりました。概ねクレジットカードと電子マネーで賄われている(充分)という印象も大きいですが、QRコード決済の利用率をどう読むか。私見としては、来年再来年に消えてなくなっているか、クレカ・電子マネー並に一般化しているか、両極端な可能性の中でまさに揺らぎ、初期参入者の血みどろの戦いが繰り広げられていますので、その動静は興味深いです。消費税増税についてはあらかじめメディアでも報道されている通り、今回は2%増での市況ショックなどはほぼ回避された模様。しかし経営・マネジメント各位においては、自分の懐事情への影響もさることながら、事業への影響、国家財政における意味合いなどへの目配せ・懸念も少なくなく、もやもやした印象が残りますね。

■消費税増税のメリットを感じない人が半数以上

消費税増税についてどのように感じているか伺うと、全体のうち56.0%が「メリットを感じない」と回答。その理由には「支払いが増えるから」や「軽減税率の対応で現場の工数がかかったから」などがあげられました。一方で12.0%が「メリットを感じる」、32.0%が「どちらとも言えない」との回答になりました。それぞれ、メリット・デメリットの理由は以下のとおりです。また、消費税は何%が妥当だと思うかと伺うと最も多かったのが「10%」、続いて「5%」、「0%」という回答も目立ちました。

<消費税増税についてメリットを感じますか？>



メリットを感じている理由

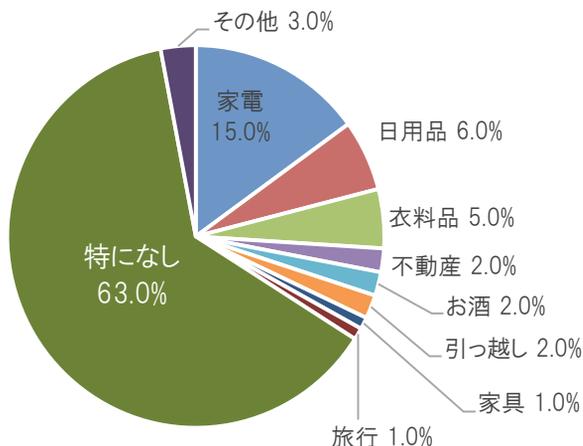
- キャッシュレス還元があるから
- 政府は発動したキャッシュレス施策のお陰で、クレジットカード払いが急増し、売上が増大する見込み
- 幼稚園無償化の財源となっているから
- 国家の財政健全化は喫緊の課題であるから

メリットを感じていない理由

- 単に支払いが増えるため
- 軽減税率の対応で現場の工数がかかったから
- キャッシュレス決済等でのメリットはあるが、一方で値上げが実施されているため、経済的なメリットはない
- 消費に影響が出ることは避けられないので、結果的にその影響が中小企業の受注に繋がってくると思う

増税前に行ったことについて伺うと半数以上の63.0%が「特に何もしていない」と回答。続いて15.0%は「家電の購入」、6.0%が「日用品の購入」と、エグゼクティブ層には増税前の駆け込み需要は少ない結果となりました。

<消費税増税前に購入したものや行ったことは何ですか？>



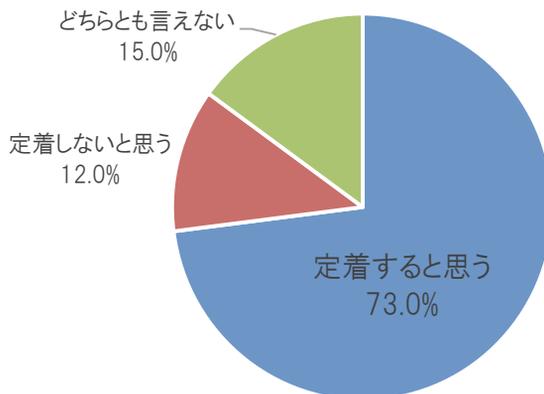
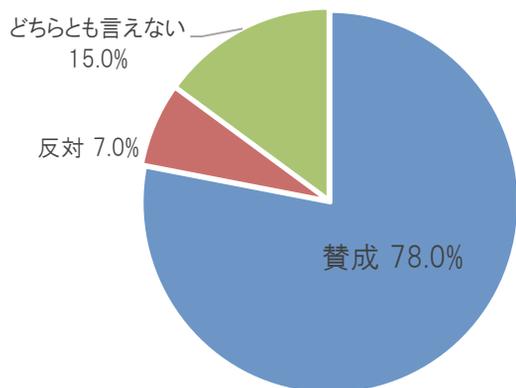
■キャッシュレス決済賛成派が78.0%

政府も力をいれている、キャッシュレス化の促進についての賛否を伺うと78.0%が「賛成」、7.0%が「反対」と回答しました。今後、キャッシュレス決済が定着するかについても伺うと73.0%が「定着すると思う」と回答し、キャッシュレス決済肯定派が過半数を占めています。

ただ、現状の数値は経済産業省が発表した「キャッシュレス・ビジョン」によると日本国内のキャッシュレス比率は18.4%。キャッシュレス大国の韓国は89.1%、中国は60.0%と他国に比べるとアジアでも日本はキャッシュレス比率が低いものの、肯定派が多い分、今後は普及率の向上が期待できます。

＜キャッシュレス化の促進は、賛成ですか？反対ですか？＞

＜キャッシュレス決済は定着すると思いますか？＞

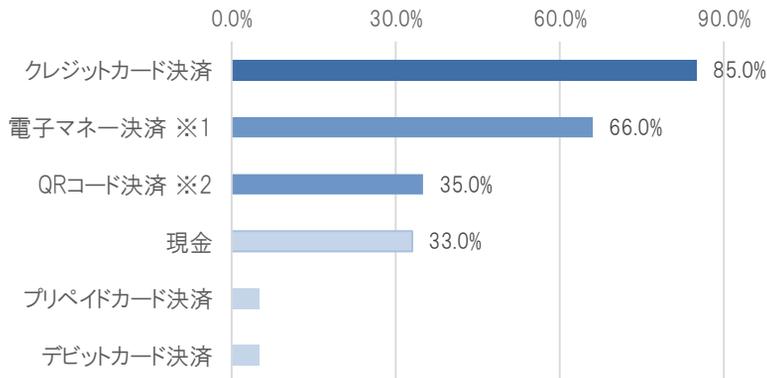
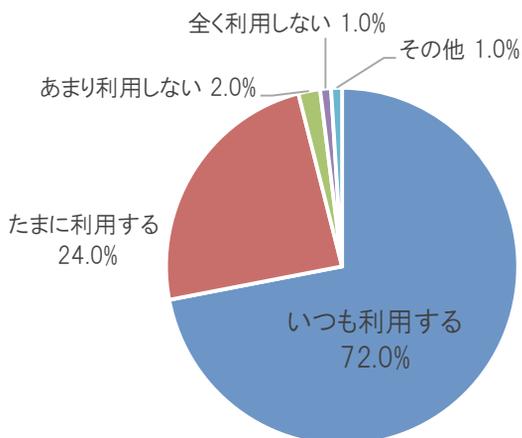


■決済はいつもキャッシュレスを利用するエグゼクティブは72.0%

実際にキャッシュレス決済の利用頻度を伺うと72.0%が「いつも利用する」、24.0%が「たまに利用する」と回答。よく利用する決済方法についても伺うと、「クレジットカード決済」が最も多く85.0%、続いて「電子マネー決済」が66.0%、「QRコード決済」が35.0%と上位3つをキャッシュレス決済が占め、わずか33.0%が「現金決済」という結果になりました。

＜キャッシュレス決済の利用頻度は？＞

＜ご自身の利用頻度が高い決済方法は？＞



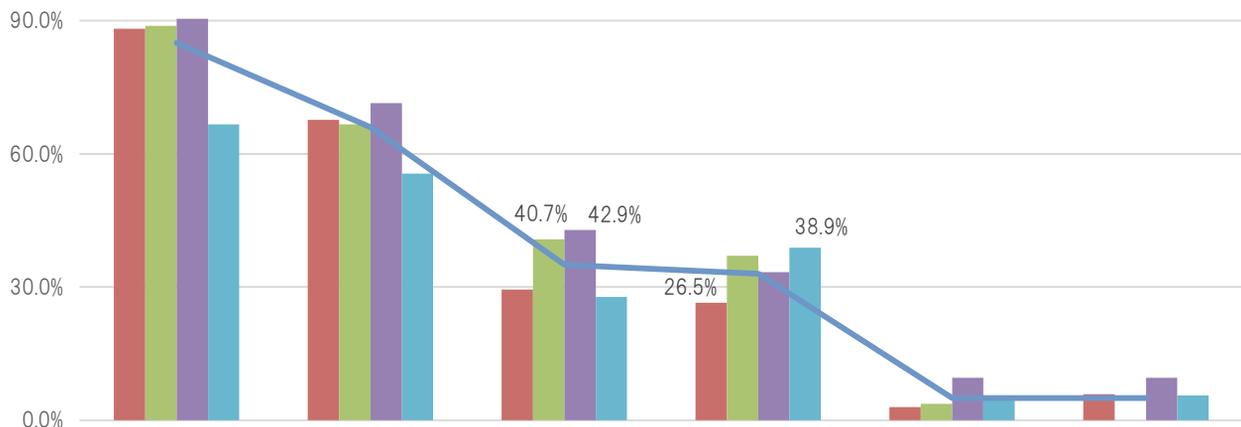
※1 Suica、PASMO、QUICPay、nanacoなど

※2 PayPay、LINE Pay、d払いなど

■ 経営者はキャッシュレス推奨派多数、現金派はわずか26.5% 課長クラスは現金派が38.9%

普段利用する決済方法を役職別に見てみると「現金決済」と回答した経営者は平均よりも低く26.5%に対して課長クラスは38.9%という結果になりました。その理由には、「まだ現金のみしか対応していない店舗があること」や「キャッシュレスは見えにくいところで使い過ぎに陥りやすいため基本的に現金派」などがあげられました。「QRコード決済」との回答は幹部・役員クラスが40.7%、部長クラスが42.9%と平均よりも高い結果になりました。

< 役職者別回答 / ご自身の利用頻度が高い決済方法は？ >



	クレジットカード決済	電子マネー決済	QRコード決済	現金	プリペイドカード決済	デビットカード決済
全体	85.0%	66.0%	35.0%	33.0%	5.0%	5.0%
経営者	88.2%	67.6%	29.4%	26.5%	2.9%	5.9%
幹部・役員クラス	88.9%	66.7%	40.7%	37.0%	3.7%	0.0%
部長クラス	90.5%	71.4%	42.9%	33.3%	9.5%	9.5%
課長クラス	66.7%	55.6%	27.8%	38.9%	5.6%	5.6%

現金派の意見

本当はクレカや電子マネー決済をしたいが、対応している店が限られているので、現金払いもしている

QRコード決済は企業が乱立、かつ、リンクできる銀行にも制限があり、まだ使いにくい

キャッシュレスは見えにくいところで使い過ぎに陥りやすいため、基本的に現金派

キャッシュレス派の意見

クレジットカード、電子マネー決済は以前より利用しており抵抗がなく、QRコード決済は今後当たり前になると考えているため最近利用を開始した

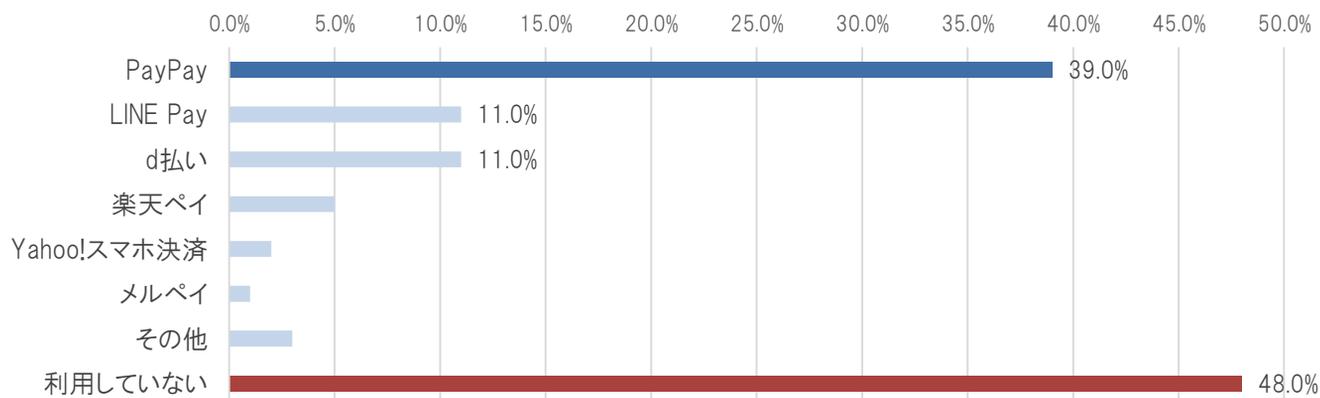
ポイント付与と還元があり、現金を持ち歩く必要がなくなるため

現金を使用する以上にキャッシュレス化に潜むリスクが語られることなく進行しているため、もう後戻りする理由は何もないと思う

■ QRコード決済“利用率”ランキング 1位「PayPay」、2位「LINE Pay」、「d払い」

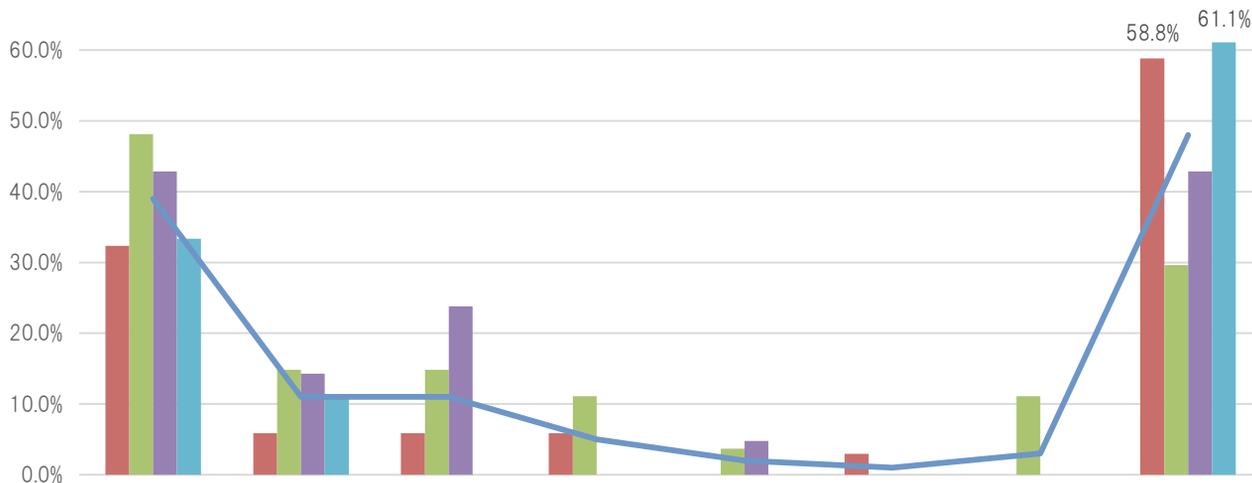
スマートフォンのアプリで手軽に利用できるQRコード決済も注目されていますが、その中で最も使われているのが「PayPay」、続いて「LINE Pay」、「d払い」との結果になりました。

<QRコード決済サービスの中で普段最も利用するのは？>



役職別に見てみると、経営者の58.8%がQRコード決済を「利用していない」と回答し、平均よりも高い結果となりました。QRコード決済を使わない理由として、「個人消費に関するデータが掌握されることを好まない」や、「航空会社のマイレージカードにポイントを集約しているから」などがあげられました。

<役職者別回答／QRコード決済サービスの中で普段最も利用するのは？>

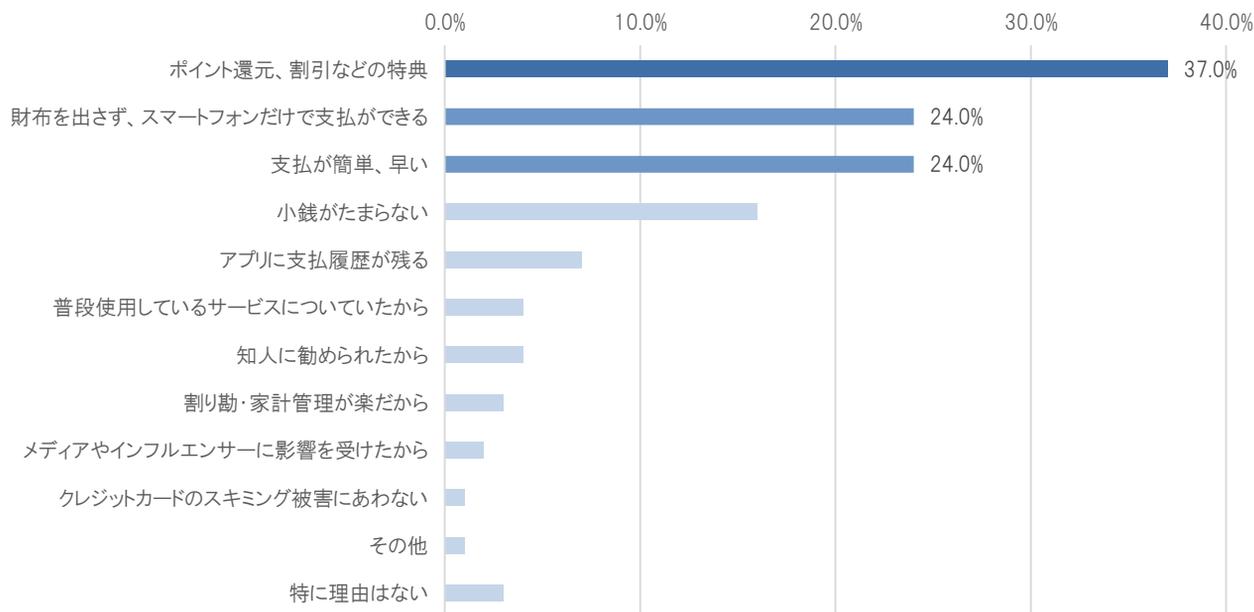


	PayPay	LINE Pay	d払い	楽天ペイ	Yahoo!スマホ決済	メルペイ	その他	利用していない
全体	39.0%	11.0%	11.0%	5.0%	2.0%	1.0%	3.0%	48.0%
経営者	32.4%	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%	2.9%	0.0%	58.8%
幹部・役員クラス	48.1%	14.8%	14.8%	11.1%	3.7%	0.0%	11.1%	29.6%
部長クラス	42.9%	14.3%	23.8%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	42.9%
課長クラス	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	61.1%

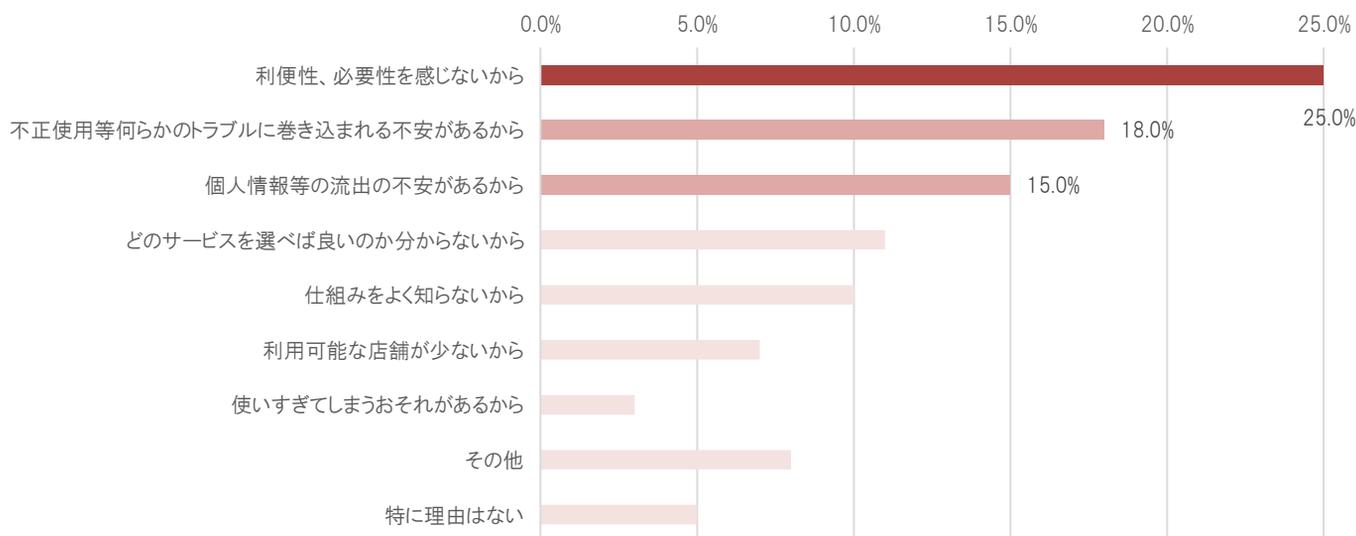
■ QRコード決済を利用しない理由「利便性、必要性を感じない」、「不正使用のトラブルに巻き込まれる不安」

QRコード決済を使い始めたきっかけについて伺うと「ポイント還元、割引などの特典」が最も多く37.0%、続いて「スマートフォンだけで支払ができる便利さや簡単さ」という声があがりました。逆に使っていない理由を伺うと「利便性、必要性を感じない」が最も多く25.0%、続いて「不正使用のトラブルに巻き込まれる不安」が18.0%、「個人情報流出の不安」が15.0%というように、セキュリティに関する懸念の声が目立ちました。

<QRコード決済を最初に使い始めたきっかけは何でしたか？>



<QRコード決済を利用していない理由は何ですか？>



■調査概要

- ・実施期間: 2019年10月11日～2019年10月25日
- ・調査対象: エグゼクティブの男性・女性(課長職以上・個人事業主含む)
- ・調査機関: 経営者JPメルマガ会員: 約7,000名(有効回答数100名)
- ・調査手法: インターネット調査

※データ利用の際は「経営者JP総研事務局 中村・藤田」までご連絡いただければ幸いです。
本調査の著作権は「株式会社経営者JP」に帰属します。

■株式会社 経営者JPについて

弊社は、明日の日本を担う志高き経営者・リーダーを育成・輩出するための「集い、学び、執行する最高の場」を提供すべく4事業を展開しております。

エグゼクティブサーチ事業(経営層特化の人材紹介)／コンサルティング事業(組織・人材・経営コンサルティング、講師・顧問派遣、EQコンサルティングサービス)／セミナー事業(経営者・リーダー対象セミナーの主催)／会員事業(志高きリーダーの会員組織の主催運営、コンテンツ提供・物販)

■本件に関する問い合わせ先

株式会社経営者JP 広報担当 中村・藤田 <http://www.keieisha.jp/>
TEL:03-6408-9700/FAX:03-6408-9701 E-mail: info@keieisha.jp